

モデル実験と観察で学ぶ水底の世界

2026年兵庫県立大学公開講座

水が動くと水底も動く？ 川や海の砂底にみられる不思議な形・面白い形。堆積物から地層ができた環境をさぐる堆積学の世界を探究してみませんか？

いずれか1日
のみ参加も可

11月22日(日) 9時～16時

大阪教育大学天王寺キャンパス中央館417【実験】

11月23日(月・祝) 8時30分～16時

大和川見学バスツアー【野外観察、大阪府柏原市～奈良県桜井市；天王寺キャンパス発着】

ポイント1 川の上流と下流の川原の石の大きさの違いが流水の運搬能力の違いによって生じていることが理解できる水路実験。

ポイント2 ドーナツ型水槽を使って、砂や泥が流水の下で分れて運搬・堆積することによって地層が形成される実験。

ポイント3 沿岸域の地層の重なりと地層形成の規則性を考察するための波を起こして行う地層の実験。

ポイント4 大和川の見学会。川原の石の上流と下流の円磨度の違い、川原の石の円磨度の変化に関する理想モデルと現実の河川との違い、最上流部における花崗岩の風化と砕屑物の形成・生産等の観察。

講師：廣木義久博士（大阪教育大学教授）川村教一・松原典孝・佐野恭平（兵庫県立大学）

定員：20名 受講料：無料 申込期日：11月18日（水）まで、ただし定員になり次第締切。

申し込み方法：メール件名を「11月公開講座」として rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp 宛に、参加を希望する日ほか、参加者全員の氏名、年齢、当日連絡先の電話番号をそえてお申し込みください。日程など詳細をお知らせします。

問合せ先：兵庫県立大学 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス（兵庫県豊岡市） TEL: 0796-34-6079

主催：兵庫県立大学



本公開講座は公益財団法人河川財団による助成を受けています。